後期始業式の言葉

今日から後期が始まります。新型コロナウイルスの影響で大変な時が続いていますが、代々木山谷小学校の子供たちは、お友達と、それぞれのクラスで、そして学年全体で力を合わせて勉強に、運動に、そして行事に取り組んでほしいと願います。

後期が始まるにあたって、私から二つのことをお話しします。

一つ目は、「感染症対策をしっかりする」ということです。東京の一昨日の感染者数は 60 人、昨日は 49 人でした。一時から見るとずいぶん少なくなりましたね。でも油断は禁物です。「第 6 波は必ず来る」、「デルタ株は子供にも感染が多い」などという人も多いのです。

今日から、「毎日体温を測ってくる」健康観察です。「校庭から帰ってきたら手を洗う」こまめな手洗いです。そして「給食の時はしゃべらない」黙食です。これらのことをしっかり見直してください。

二つ目は、「いじめはしない」ということです。新型コロナの影響で、様々な制約が多くなっています。だから、いらいらしていたり、うまくいかないことを人のせいにしてみたりしがちです。でもね、今の世の中、みんなが同じ思いをしているのです。このような時だからこそ、一人ぼっちの人に声をかけてあげてください。人のせいにしないで、自分でなおせるところはなおしてみてください。頭にくることがあっても、優しく注意をしてあげてください。

このような積み重ねが、コロナが収まった次に、必ずよいお友達ができることにつながるし、助け合うクラスに成長することになるのだと思います。

もう一度言います。後期が始まりました。後期は「感染症対策をしっかりとること」、「いじめは絶対にしないこと」。この二つを忘れないでください。みんなの力で、よいクラスを、よい学年を、そしてすばらしい代々木山谷小学校をつくっていきましょう。